

# 全校集会「人権」

R2. 9. 9

9月9日に全校集会が行われ、校長先生から「人権」についての話がありました。

アメリカで起きた、人権差別が根底にある白人警官による黒人殺傷事件から始まる「人権尊重」の話でした。

一人一人の人間は、みんな、肌の色や男女、老若、家柄、太っていたりやせていたりする体格、顔つきの違いが当然あり、「区別」は大切ですが、誰かが悲しむような「差別」はしてはいけないこと。

人間には、生まれた時から「人間らしく 幸福に」生きる権利「人権」があるにもかかわらず、今、身近なところで、コロナウイルスに感染した人々に対する「差別」が増えていることに言及されました。また、感染症対策の最前線で働く医療従事者のみなさんに向けられる「差別」も触れられました。

このお話を聞いていた児童の皆さんに、校長先生が問いかけました。「もし、あなたのそばに感染して休んでいる人がいたら、なんて言ってあげたらいいかな。」すると、ある女の子が「治ったら、一緒に遊ぼうと言ってあげる。」と、答えたのです。

誤った見方・考え方による差別や偏見に対して「差別はしない」という人権感覚・人権意識を、確実に備えてほしいと思います。

